

全鉄連流通動態調査結果表 2020年12月分

(2021. 1. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		11月実績	前月比	12月実績	前月比	12月実績	前月比	12月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	4,717	97.8%	41,424	108.8%	41,117	107.7%	5,024	106.5%	
	大阪	2,707	106.5%	17,246	99.9%	16,807	98.3%	3,146	116.2%	
	愛知	2,911	99.8%	4,291	80.3%	4,294	80.3%	2,908	99.9%	
	計	10,335	100.5%	62,961	103.8%	62,218	102.6%	11,078	107.2%	
形鋼	山形鋼	東京	16,829	100.8%	8,299	97.3%	8,077	96.3%	17,051	101.3%
		大阪	20,216	101.1%	9,473	106.1%	9,301	106.8%	20,388	100.9%
		愛知	7,836	107.6%	5,306	102.4%	5,129	110.8%	8,013	102.3%
		計	44,881	102.1%	23,078	101.9%	22,507	103.6%	45,452	101.3%
	溝形鋼	東京	14,631	98.6%	4,848	89.1%	4,818	85.4%	14,661	100.2%
		大阪	11,271	109.4%	6,659	103.0%	5,667	103.1%	12,263	108.8%
		愛知	6,129	117.9%	3,372	92.5%	3,253	119.7%	6,248	101.9%
		計	32,031	105.6%	14,879	95.7%	13,738	99.1%	33,172	103.6%
	H形鋼	東京	28,311	101.2%	16,676	105.8%	14,084	91.3%	30,903	109.2%
		大阪	43,603	103.0%	27,402	105.1%	25,600	103.3%	45,405	104.1%
		愛知	15,935	95.7%	9,871	111.3%	10,885	113.5%	14,921	93.6%
		計	87,849	101.0%	53,949	106.4%	50,569	101.5%	91,229	103.8%
合 計		164,761	102.2%	91,906	103.4%	86,814	101.7%	169,853	103.1%	
コ ラ ム	東京	8,318	98.1%	3,489	137.6%	2,654	98.6%	9,153	110.0%	
	大阪	15,433	101.5%	2,394	75.5%	2,641	89.9%	15,186	98.4%	
	愛知	1,467	118.1%	1,391	95.3%	1,249	101.2%	1,609	109.7%	
	計	25,218	101.2%	7,274	101.5%	6,544	95.3%	25,948	102.9%	
軽量C形鋼	東京	3,201	93.3%	2,502	115.9%	2,204	92.3%	3,499	109.3%	
	大阪	3,037	104.3%	1,838	101.5%	1,645	97.6%	3,230	106.4%	
	愛知	2,130	100.4%	1,128	113.5%	1,048	106.3%	2,210	103.8%	
	計	8,368	98.9%	5,468	110.2%	4,897	96.8%	8,939	106.8%	
総 計		208,682	101.8%	167,609	103.7%	160,473	101.6%	215,818	103.4%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知13 合計63社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。